

(1) 救急車を呼ぶ (けがをした！)

○イメージをつかむ ●イラスト写真シート (救急車)

○体験・行動をする ■活動シート

活動 1ー どんな時に救急車を呼ぶ？

救急車を呼んでほしい症状

活動 2ー 救急隊員の問いかけパターン

活動 3ー 救急隊員への対応、回答例

○言葉・表現を知る ◇言葉・表現シート

(活動 1・2・3・で使用される言葉)

活動 1 救急車をよんでほしい症状の表現

活動 2・3 救急隊員の問いかけ・対応の表現

○発展的な活動

自分の国と日本の救急車の違いについて話し合う

取り上げる生活上の行為の事例

「救急(119)に電話する」

(1ー0205) 又は (0504050)

教室活動の目標

- ・ 救急車を呼ぶことができる
- ・ 救急隊員の問いかける言葉のパターンを知る
- ・ 症状、状況の説明ができる

教室活動のねらい

- ・ どんな時に救急車を呼ぶべきかを知る
- ・ 非常時の電話での対応
- ・ 本人の母語は日本語ではないという事が伝えられる
- ・ 名前、数字等はゆっくり、ゆっくり伝わりやすく話す
- ・ 救急隊員の言葉を理解できる

● 救急車



■ 活動1－どんなときに救急車を呼ぶ？

こんな時も救急車を呼んでいいですか？ ○×で答えましょう。

- () 1. 交通手段がない
- () 2. どこの病院に行けばいいかわからない
- () 3. やっぱり便利だから
- () 4. 病院でもらった薬がなくなった
- () 5. 今日、入院の予定日だから
- () 6. 病院で長く待つのが面倒
- () 7. 病院の診察時間に間に合わないから
- () 8. 海水浴に行って、日焼けした足がヒリヒリする。

* 救急車を呼んだ方がいい時と、呼ぶべきではない時について、皆で話し合しましょう。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
 重大な病気やけがの可能性あります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

■ 活動2－救急隊員の問い合わせパターン

○母がけがをした！救急車をよばなくては！

(救急隊員の問い合わせパターンを知ろう！！)

あなたはお母さんと二人で自宅にいます。

あなたのお母さんが、包丁で左手をグッサリ切ってしまいました。

出血がひどく、傷は深いようです。

あなたが 119 番に電話して、救急車を呼びます。

- ① はい、119 番、火事ですか？救急ですか？

A さん：

- ② 住所はどこですか？

A さん：

- ③ あなたのお名前は？

A さん：

- ④ お使いの電話番号は何番ですか？

A さん：

- ⑤ 自宅の電話ですか？

A さん：

- ⑥ 誰（だれ）が、どうしましたか？

A さん：

- ⑦ お母さんは何歳ですか？大体でいいですよ。

A さん：

- ⑧ 救急隊はもう出ていますから、落ち着いて教えてください。お母さんは歩けますか？

A さん：

- ⑨ ほかに誰かいますか？

A さん：

- ⑩ 近くに目印（めじるし）とか、大きな建物とかありますか？

A さん：

- ⑪ こちらから電話することもあるので、お使いの電話は使わないでください。

A さん：

- ⑫ 救急車のサインが聞こえたら、〇〇の所まで来て、合図（あいず）して下さい。

A さん：

- ⑬ もうすぐ救急隊員（きゅうきゅうたいいん）が到着します。電話を切ってお待ちください。

A さん：

■ 活動3－救急隊員への対応・回答例

あなたはお母さんと二人で自宅にいます。

あなたお母さんが、包丁で左手をグッサリ切ってしまいました。

出血がひどく、傷は深いようです。

あなたが119番に電話して、救急車を呼びます。

① 救急隊員

Aさん： 救急です。 外国人なのでゆっくり話して下さい。

② 救急隊員

Aさん： 船橋市・・・町・・・番・・・ビル1－316です。

③ 救急隊員

Aさん： ○○○○です。

④ 救急隊員

Aさん： 047－・・・－1234 です。

⑤ 救急隊員

Aさん： はい、そうです。 <いいえ、携帯です>

⑥ 救急隊員

Aさん： 母が包丁で左手をグッサリ切ってしまいました。血がたくさん出ていて、止まりません。<お母さんが包丁で左手を切りました。血がたくさん出て止まりません>

⑦ 救急隊員

Aさん： ○○才です。 <○○才位です。>

⑧ 救急隊員

Aさん： 歩けると思います。<歩けます。>

⑨ 救急隊員

Aさん： 母と自分だけです。<お母さんと私だけです。>

⑩ 救急隊員

Aさん： ○○がすぐ近くにあります。 <○○の隣(となり)です。>

⑪ 救急隊員

Aさん： はい、わかりました。

⑫ 救急会員

Aさん： はい、○○の所で、合図(あいず)ですね。<○○の所にいます。>

⑬ 救急隊員

Aさん： はい、よろしくお願いします。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状 言葉・表現

○言葉・表現

- ・いつもと違う
- ・様子がおかしい
- ・くちびるの色が紫色(むらさきいろ)
- ・激(はげ)しい咳(せき)
- ・高所からの転落
- ・呼吸(こきゅう)が苦しい
- ・意識(いしき)がない
- ・けいれんが止まらない
- ・食べ物をのどにつまらせた
- ・飲み込み(のみこみ)
- ・水におぼれている
- ・交通事故にあった
- ・ぐったりしている
- ・もうろうとしている
- ・意識がもどらない
- ・広範囲(こうはんい)のやけど

○文を作ってみよう！

_____を飲み込んでしまった！

_____の様子がおかしいです！

○自分で言葉を選んで文を作ってみよう！

① _____

② _____

救急車を呼ぶ 言葉・表現

○言葉 表現

包丁 (ほうちょう) グッサリ 出血がひどい 傷は深い

火事 救急 救急隊 (きゅうきゅうたい) けが

目印 サイン 落ち着いて聞く

合図をする 到着 (とうちゃく) する 電話を切る

お使いの電話は何番ですか？

○練習してみよう

名前 住所 番号 (ゆっくり言う)

外国人なのでゆっくり話して下さい。

歩けると思います。 歩けないかもしれません。

○文を作ってみよう

もう出ています

もう出ていますよ

～しないでください

しないでくださいね

～ですね

～が出て止まりません

～と自分だけしかいません

～と二人だけです

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0504050)「消防・救急(119番)に電話する」

教室活動の目標

- ・救急車を呼ぶことができる。
- ・救急隊員の問いかけパターンを知る。
- ・状況の説明ができる。

教室活動のねらい

- ・どんな時に救急車を呼ぶべきか知る
- ・非常時の電話での対応
- ・人の母語は日本語ではない事が伝えられる
- ・名前、数字等はゆっくり伝わりやすく話す
- ・救急隊員の言葉を理解できる

学習者は中級レベル対象です。

「聞く」「書く」「読む」「話す」が一つのテーマで学習できるよう考慮してあります。

特にルビふりはなるべくしないように気をつけてあります。

漢字を見ると内容をある程度理解してしまうので、シート類は見せず聞き取りと書き取りから入ります。

分からない語彙に対しては(分からない語彙が多い時は言葉・表現のシートを手渡してもよいでしょう)説明し内容を理解してから本人がメモをするようにし、漢字でメモしたいときは用意した語彙表からそれだけを表示します。

救急隊員への対応は自分で考え答え、シミュレーション終了後、初めて文シートを渡します。

準備する素材

ー 消防庁発行 「救急車を上手に使いましょう」

http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/index.html

ー 船橋市 救急ガイドブック

イメージをつかむ

☐ イラスト写真シート

「救急車の写真」を見ながら、救急車について話す。

救急車とはどんなものか？呼んだ経験があるか？

〈問いかけ例〉

「日本で救急車を呼ぶ場合は何番ですか？」

「救急車は病院からきますか？どこからくるか知っていますか？」

「どんな時に救急車を呼びますか？」

「救急車を呼んだことがありますか？」

「その時、どんなことを聞かれましたか？」「どんな事を聞かれると思いますか？」

体験・行動する

☐ 活動シート

・活動1 ーどんな時に救急車を呼ぶ？

救急車を呼んだ方がいい時と呼ぶべきではない時について話し合しましょう。
尚、項目の中の「どこの病院に行けば分からない」については、119番にか
けて病院を教えてもらうことができる事を伝えておきましょう。

救急車を呼んだ方がいい症状シート

症状に対する言葉の表現は、普段の会話の中では使われることが少ないと思われるので、
絵を見て症状を理解し正しく読めれば、無理に時間をかけないで次に進んでもよいで
しょう。毎回数分程度の時間をかけて表現の練習等をしたり、「症状の語彙」をカード
にして、絵との組み合わせパズルなどをしてもよいでしょう。

＜問いかけ例＞

「この絵を見てどんな症状だと思いますか？」

「知っている表現はありますか？」

「日本語で言えなくても、どのような症状だか理解できますか？」

「このような症状を見たことがありますか？」

「誰がそうになりましたか？」

体験・行動する

□ 活動シート

・活動2 一救急隊員の問いかけパターンシート

- ① 救急車を呼ぶシミュレーションを行う前に、名前、住所、電話番号等は問われることを事前に伝え、ゆっくりていねいに表現する練習をします。
- ② 電話対応なので、学習者の母語が日本語ではないことをどの様に伝えたらよいか話し合います。
- ③ 状況設定文はデクテーションです。一行ごとに聞かせ学習者は自分のノートに書いていきます。分からない語彙は説明します。理解していることを確かめてから次の行に進みましょう。（レベルによっては状況設定文を渡してもよいでしょう）記入した状況設定文を学習者は必ず音読します。書き取りの間違いがあればもう一度聞かせ、チェックします。

状況設定文

あなたはお母さんと二人で自宅にいます。

あなたのお母さんが、包丁で左手をグッサリ切ってしまいました。

出血がひどく、傷は深いようです。

あなたが、119番に電話して、救急車を呼びます。

- ④ 「救急隊員の問いかけパターンシート」のうち難しそうな語彙は確認し、新しい語彙については説明しメモをするよう指示します。（学習者にとって新しい語彙が多いようでしたら語彙表を渡して、音読、意味の理解、練習等をしましょう）

- ⑥ いよいよシミュレーションです。

協力者は119に電話します。指導者が、救急隊員の役でシートを読みます。

日本人でも救急の電話対応は大変です。どんな問いが来るのかわかりません。

本当に電話しているようにやってみましょう。

- ⑦ つまづいた所だけ指導者と協力者の関係に戻り、ある程度のヒントを伝えます

- ⑧ うまくシミュレーションができるようになった後、救急隊員の問いかけシートを学習者に渡します。活動シートを音読し、音と文字、意味の再確認をします。学習者は対応欄 <A さん> に言葉を記入します。

体験・活動をする

□活動シート

・活動3 一救急隊員への対応、回答例

- ① 協力者の回答と回答例を比較し違いについて話し合ってみましょう。回答例の語彙の練習等をして、自分の書いた問いかけシートの対応文を直してみましょう。
- ② ロールプレイをしてみましょう。ポイントを押さえて語彙・表現シートの中から表現を練習しましょう。

発展的な活動

・活動4 一自分の国と日本の救急車の違いについて話し合いましょう。

- 「自分の国の救急車はどうですか？日本の色と同じですか？」
「どんなサイレンの音ですか？」「日本のサイレンと同じようですか？」
「救急車のサイレンが聞こえたら、あなたの国も日本と同じように車も人も止まりますか？」
「自分の国の救急車と日本の救急車とは、どんなところが違いますか？」

違いについて文を書いてもいいでしょう。

- ・活動には入れませんでしたが、救急車を呼んだ後、用意するものをつたえておくのもいいと思います。

保険証 はきもの お金 携帯（準備する素材―「救急車を上手に使いましょう」から）